

5 参考資料

(1)類似施設の状況

【公設公営】

都 道 府 県	新潟県
市 町 村	新津市
施 設 名 称	新津鉄道資料館
展 示 内 容	企画展時や鉄道資料の展示、SLや電車の展示がある。ファミリーエリアでは、休憩スペースやジオラマ、プラレールが設置されている。
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時00分
休 館 日	火曜日、年末年始
入 場 料	一般300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円
駐 車 場	－
設 置 目 的	「交流人口の拡大と地域の活性化」「鉄道文化の発進拠点」「人づくりと地域の連携による事業展開」
運 営 方 針	新津鉄道資料館活性化基本計画に基づき、運営。
達 成 目 標	－
運 営 方 法	正規職員2人、再任用職員1人、非常勤職員3人、臨時職員15人(旧国鉄OB)
資 金 調 達	H30市歳出予算:企画等事業費6,000千円、運営管理費22,892千円 H30市歳入予算:入館料 11,938千円、SL使用料 700千円
そ の 他	



【公設民営】①

都 道 府 県	滋賀県
市 町 村	長浜市
施 設 名 称	長浜鉄道スクエア
施 設 内 容	現存する最古の駅舎・旧長浜駅舎などから構成されており、長浜の鉄道史や琵琶湖水運に関する資料、北陸線に走った鉄道の模型車両が展示。建物は英国人技師が設計した洋風2階建ての、文明開化を象徴する近代遺産。機関車の乗車や駅長服試着、N・HOゲージや鉄道のおもちゃの操作体験
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時00分
休 館 日	年末年始(12月29日～1月3日)
入 場 料	大人:300円、小・中学生:150円
駐 車 場	有料(長浜駅西駐車場)/乗用車120台
設 置 目 的	歴史的な文化資源を後世に保存伝承するとともに、観光資源とし活用することで国内外からの誘客増進を図ることを目的とする。
運 営 方 針	常設展示の適切な管理運営だけでなく、周辺施設とも連携を図りながら魅力的な企画展を開催することで、国内外からの誘客を図る。
達 成 目 標	利用者数60,000人(平成34年度)
運 営 方 法	公益財団法人長浜観光協会が市の指定管理を受けて運営。元交通科学博物館学芸員を非正規雇用。
資 金 調 達	指定管理料2,172,000円、入館料(推定)8,250,000円(55,000人×150円)
そ の 他	子どもや女性、熟年世代をそれぞれ対象とした企画展の実施。大学の鉄道模型クラブと協力し、鉄道フェスティバルの開催。インバウンドに対応するためにHPやパンフレットの多言語化を行っている。旧駅舎は歴史的な洋風建築であり、その強みを活かした鉄道喫茶の開催や、会議や研修での利活用を促進している。



【公設民営】②

都 道 府 県	福島県
市 町 村	郡山市
施 設 名 称	郡山市ふれあい科学館スペースパーク
展 示 内 容	鉄道ジオラマの展示、宇宙に関する展示や映像上映(宇宙劇場) 宇宙や科学など親子で楽しむことができる展示とともにNゲージ、鉄道ジオラマの展示を行うことで相乗効果が生むことができている。
開 館 時 間	午前10時～午後4時15分(曜日や展示ゾーンによって異なる)(展望ロビーは午後8時まで)
休 館 日	毎週月曜日、12月31日、1月1日
入 場 料	宇宙劇場:一般400円、高校生・大学生300円、小・中学生200円、幼児100円
駐 車 場	有料/437台
設 置 目 的	鉄道展示については、交通の要所である郡山市のPRを図ることと、幅広い世代がともに科学にふれて、交流を楽しむことができることを目的に設置。
運 営 方 針	常設展示の適切な管理運営だけでなく、魅力的な企画展やイベントを実施する。
達 成 目 標	(平成28年度入館者数 403,111人)
運 営 方 法	公益財団法人郡山文化・学び振興社が市の指定管理を受けて運営。
資 金 調 達	指定管理料312,908千円、入館料120,000千円(推定)
そ の 他	旧国鉄OBの方がボランティアとして、団体ガイドなどを行っている。

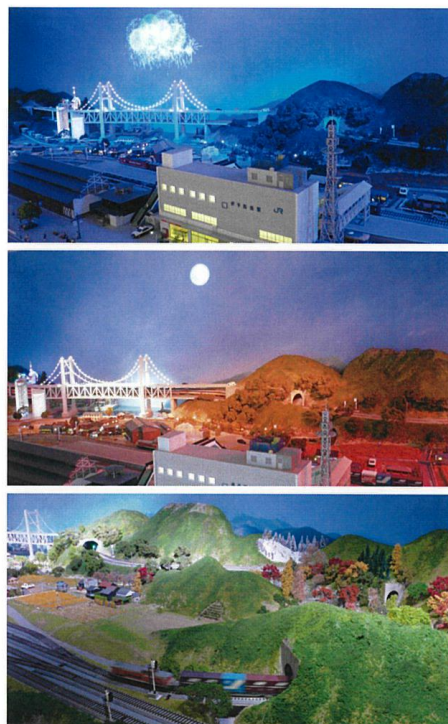


【公設民営】③

都 道 府 県	愛媛県
市 町 村	西条市
施 設 名 称	鉄道歴史パーク in SAIJO
展 示 内 容	列車運転が体験できる鉄道ジオラマ、C57・キハ65などの実物車両展示、鉄道標識・信号機の展示
開 館 時 間	午前9時～午後6時
休 館 日	水曜日 ※水曜日が祝祭日の場合は、翌日休館
入 場 料	高校生以上300円、小中学生100円、就学前児童無料 ※年間パスポート有り
駐 車 場	無料
設 置 目 的	鉄道文化を広く紹介し、その伝承と発展に寄与するとともに、交流人口の拡大及び生涯学習の推進等を図ることを目的とする。
運 営 方 針	鉄道文化に関する資料収集、展示及び情報発信のみでなく、特別企画展やイベント等の開催
達 成 目 標	-
運 営 方 法	西条市がJR四国の協力を得て設置。公益財団法人日本ナショナルトラストが指定管理を受けて運営。
資 金 調 達	指定管理料、入館料
そ の 他	



「鉄道資料室」列車運転体験ジオラマ



【公設民営】④

都 道 府 県	鳥取県
市 町 村	倉吉市
施 設 名 称	倉吉線鉄道記念館
展 示 内 容	旧国鉄倉吉線「打吹駅」跡地に建設。館内には倉吉線に関する資料や写真パネルが展示。記念館横には当時活躍したSL機関車が展示。
開 館 時 間	午前9時00分～午後5時00分
休 館 日	年末年始
入 場 料	無料(鉄道記念館)
駐 車 場	無料(市役所駐車場)
設 置 目 的	市民の福祉、文化及び教養の向上並びに産業の振興を図るため。
運 営 方 針	多目的利用施設「まちかどステーション」及び写真パネル等展示施設「倉吉線鉄道記念館」、「公園駐車場」を一体的に整備し、運営する。
達 成 目 標	(平成30年4月入館者実績 385人)
運 営 方 法	倉吉市まちかどステーション、倉吉線鉄道記念館及び公園駐車場の指定管理者が運営。
資 金 調 達	指定管理料 約140万円(まちかどステーション及び公園駐車場管理運営も合わせて)
そ の 他	



【民設民営】①

都 道 府 県	京都府
市 町 村	京都市
施 設 名 称	京都鉄道博物館
展 示 内 容	蒸気機関車23両を含む歴史的価値が高い53両を展示。運転シュミレーターなど体験型展示。JR西日本社員によるワークショップ。
開 館 時 間	午前10時00分～午後5時30分
休 館 日	毎週水曜日、年末年始(12月30日～1月1日)
入 場 料	一般1,200円、大学生・高校生1,000円、小中学生500円、幼児200円
駐 車 場	なし
設 置 目 的	鉄道を基軸とした事業活動を通じた地域の活性化に貢献する
運 営 方 針	資料収集・整理保管、調査研究、展示、教育普及を実施しながら地域の活性化に貢献する
達 成 目 標	(累計入館者数 130万人 H28.4.29～H29.3.4)
運 営 方 法	西日本旅客鉄道
資 金 調 達	入館料
そ の 他	



【民設民営】②

都 道 府 県	三重県
市 町 村	四日市市
施 設 名 称	貨物鉄道博物館
展 示 内 容	実物貨車(16台程度)、貨物関係の資料類展示、各種部品展示、ジオラマ&キッズコーナー、
開 館 時 間	毎月第1日曜日 午前10時～午後4時 ※屋外に展示している実物貨車は常時見学可能
休 館 日	-
入 場 料	無料
駐 車 場	三岐鉄道株式会社内
設 置 目 的	貨物輸送がはじまって130年を迎えるのを記念して、平成15年に、貨物鉄道を専門とする博物館として開館。
運 営 方 針	土地・建物を三岐鉄道株式会社からNPO法人に貸与し、NPO法人が主体となって地域のボランティアと協力して運営。
達 成 目 標	(月200～300人程度来場)
運 営 方 法	三岐鉄道株式会社内に事務局を構えて、一般からの寄付及びボランティアにより運営
資 金 調 達	寄付金
そ の 他	



【民設民営】③

都 道 府 県	群馬県
市 町 村	みなかみ町
施 設 名 称	水上駅SL転車台広場
展 示 内 容	転車台、蒸気機関車、芝生広場 ※春から秋にかけて高崎駅から水上駅間をSLが走行し、終点の水上駅にある転車台にて方向転換を行う。
開 館 時 間	(広場のため年中開放)
休 館 日	—
入 場 料	—
駐 車 場	—
設 置 目 的	準鉄道記念物に指定されているSLの保存。
運 営 方 針	—
達 成 目 標	—
運 営 方 法	JR水上駅及び鉄道OB、地元ボランティアにより管理。
資 金 調 達	管理経費はJR。塗装整備についてクラウドファンディングを実施し、600万円の支援及び400万円の市補助。
そ の 他	



【民設民営】④

都 道 府 県	兵庫県
市 町 村	朝来市
施 設 名 称	ふじおミニ鉄道資料館
展 示 内 容	藤尾さん個人が70年間集められた様々な鉄道アイテムを展示。 明治時代の乗車券や、全国の記念切符5,000枚、珍品切符、Nゲージ500両等を展示。 鉄道ジオラマも展示。
開 館 時 間	要予約
休 館 日	－
入 場 料	無料
駐 車 場	－
設 置 目 的	－
運 営 方 針	－
達 成 目 標	－
運 営 方 法	北近畿鉄道友の会が展示監修
資 金 調 達	－
そ の 他	

